

俳句ギャラリー

ふしの句会（山口市医師会）

短夜やあけゆく山の際美しき
程よくも口に転ぶや枇杷の種
夏帽子かぶりて写真もう一度

杉山元治

鶏ひと声短夜の夢幕引かれ
晩節も生まれ変はるや菖蒲の湯
うららかや欠伸噛みしめ五時限目

成重隆博

集約の理不尽に泣き梅雨に入る
白紫陽花赤の予想が蒼く咲く
天網恢恢疎にして合歡の花

末兼浩史

日暮まで遊ぶ薄暑や西の京
短夜や小雨の空の縹色
南風連れ花柄まぶし島娘

佐々木映子